



観光は平和への
パスポート
国連世界観光年宣言

JHS たより

学校法人日本ホテル学院
発行所／専門学校日本ホテルスクール
一般財団法人日本ホテル教育センター

平成29年3月15日(15,000部)発行
2017.3 Vol.59
〒164-0003東京都中野区東中野3丁目15番14号 TEL.03-3360-8231(代)
<https://www.jhs.ac.jp> <http://www.jec-jp.org/> FAX.03-3360-8584

全員参加の海外研修旅行、現地交流を加えて

学生間の相互交流：443名の1年生がフィリピンのUPH大学で

ヤングスコールの交流：3名メルボルン、17名マニラ、27名ローマ、3名グアム



1月27日、スコールクラブローマの会員と交流：

左から井上浩先生、原雅貴YSCJメンバー、宮沢彩YSCJ会長、ロベルト・ネッチ氏（ローマ会長）、アントニオ・ペルカリオ氏（イタリア評議員）、ニコル・チュトルフオさん（ヤングスコール・ローマ会長）

開校以来、「教育理念|国際的視野に立脚した人材の育成」を実現するため、1973年から2年次に1回、カナダ・アメリカに向けて全員参加の海外研修旅行を実施、1989年から円高の時代を迎え、1年次東南アジア、2年次欧米と海外研修が2回可能となり、二つの文化圏を体験する方向へ変更してきました。それ以降、2002年米国同時多発テロの影響で、一度だけ海外を取りやめ国内へ全面変更、また2016年パリのテロ事件で一部中止、2017年その後遺症で一部目的地を希望者のみ国内に変更したこともあります。教育理念に従い全員参加の海外研修旅行は基本的に継続、これまで通算すると、1万人以上の学生／卒業生が1～2度の海外研修旅行に参加していることになります。

最近では、従来の研修旅行に現地での交流を加え、学生や業界人との交流を図っています。その一つが、フィリピンのUPH大学における学生間の相互交流です。2012年同大学との単位互換・編入提携を皮切りに、2013年1年生9名21日間の短期留学を開始して以来、マニラ滞在中、2014年から1年生全員約450名を40～45名11～12班に分けて同大学へ送り、毎年、学生間の相互交流を推進してきました。同大学の学生が空港で出迎え、バスの手配、歓迎式典の開催、滞在中の観光／ショッピング案内、ホテル／レストランの手配など、旅行会社と教授陣指導の下で、相互交流を推進するもので、双方の学生からは非

ヤングスコールの海外交流も徐々に具体化へ

校長 石塚 勉

ヤングスコールク

ラブジャパン(YSCJ)

は、2015年英語専

攻科の学生78名が

会員となり、スコ

ールクラブオブ東京の



下で発足した組織です。スコールクラブの本部はスペインにあり、世界80カ国、400クラブ、約16000人が会員。観光業界では世界最大の国際民間組織で、日本では、東京、名古屋、大阪の3都市に約140名の会員がいます。ヤングスコールクラブは、1999年将来の会員増を目的に作られた新しいカテゴリーで、現在、約750人が会員となっています。2016年度YSCJは98人の会員数となり、アジア地区ベストヤングスコールクラブ賞を2年連続で受賞、2015年世界大会で特別賞を受賞しました。

本校では、国際交流の機会を作り、視野拡大を図ることを目的に、スコール会員の特別講義、また、海外研修旅行や加豪留学などの機会に、現地交流を具体的な活動としています。今年度、数回の特別講義に加え、合計50名がメルボルン、ローマ、マニラ、グアムの4ヶ所で交流できました。校長がスコールクラブの日本代表、そしてアジア地区副会長の立場にある間に、会員のメリットを活用、一歩ずつ交流機会の糸口を捉え、将来への布石として欲しいと思っています。

常に満足度の高いイベントとなっています。

もう一つは、YSCJ（ヤングスコールクラブジャパンの会員=英語専攻科の学生）と海外のスコールクラブ会員との交流です。世界400の都市にあるスコールクラブ、この組織を活用して、旅行中に交流のできる都市、2016年度は、17名がマニラで、27名がローマで食事会を開き現地のスコールクラブ会員5名ずつを招待し交流しました。また、オーストラリアへ留学中の3名はメルボルンのスコール定例会に参加、更に3名がグアムのスコールクラブ元会長から招待され、現地訪問しています。これらにより、従来の海外研修旅行に現地交流の機会を増やし、YSCJ関係も含め、異文化理解の度合いを進化させています。



UPH大学でJHS学生を迎える歓迎式典の1コマ
学生によるファッションショー

国際的視野を広める 全員参加の海外研修旅行

全員参加の研修旅行が12月5日～2月13日にわたり、実施されました。
～今年度は海外3カ国13都市、国内を訪問～

研修旅行は教育理念のひとつ「国際的視野に立脚した人間の育成」の下、カリキュラムの一部として、国内外のホテル・観光事情を学び、在学中に異なった2つの文化圏を体験することを目的に、1年次、2年次とも学年末に実施しています。

1年昼間部・夜間部 ＝フィリピン UPH大学との国際交流＝

夜間部1年生の海外研修旅行は2016年12月5日から11日の間に3泊4日、昼間部1年生は2017年1月10日から2月5日にかけて5泊6日の期間で実施しました。

昼・夜1年生はフィリピンの首都マニラ、そして昼間部はマニラとセブ島を訪問しました。フィリピンでは本校と提携するパーカチュアル・ヘルプ・システム大学（UPH大学）の全面的な協力のもと、さまざまな経験を積むことが出来ました。

空港への出迎えから始まり、旅行期間中はUPH大学の学生達が付き添い、明るい笑顔とホスピタリティでサポートしてくれました。今回の交流を通して学生との親睦を深めることができました。



UNIVERSITY OF PERPETUAL HELP

UPH大学は約5万人の学生、キャンパスは8つ、22学部70コースを要する南フィリピン最大級の総合大学。

同大学のホスピタリティマネジメント学部では、3つのキャンパスに分かれて3,000名以上の学生が学んでいます。本校はアジアでも数少ない英語を公用語とする国、フィリピンにおける最大級の総合大学であるパーカチュアル・ヘルプ大学（略称=UPH大学）と連携。単位互換により同大学の3年次へ編入し、2年間で学士号を取得するという制度を新設しました。

2年昼間部 ＝アメリカ、イタリア、国内から選択＝

留学生のVISAの関係で、一部欧米への渡航に制限があり、また近年の社会情勢を考慮、今年度は選択として国内研修旅行を実施しました。

アメリカコース 6泊8日 174名参加

- 成田⇒サンフランシスコ⇒ラスベガス（ラスベガス泊）
- ラスベガス市内研修（ラスベガス泊）
- 自主研修（ラスベガス泊）
- ラスベガス⇒ロサンゼルス（アナハイム泊）
- 自主研修（アナハイム泊）
- ホテル施設見学、市内研修（アナハイム泊）
- アナハイム⇒ロサンゼルス
- ロサンゼルス⇒成田



イタリアコース 6泊8日 95名参加



- 成田⇒ローマ（ローマ泊）
- ローマ市内研修（ローマ泊）
- ローマ⇒フィレンツエ
- フィレンツエ市内研修（フィレンツエ泊）
- フィレンツエ市内自主研修（フィレンツエ泊）
- フィレンツエ⇒パルマ⇒ヴェネチア
- チーズ工場見学・ヴェネチア市内研修（ヴェネチア泊）
- ヴェネチア⇒ミラノ
- 自由研修（ミラノ泊）
- ミラノ⇒成田

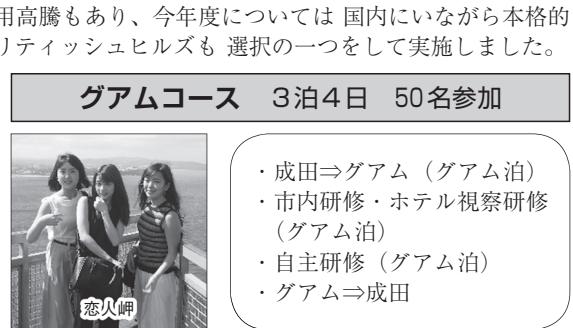
国内（大阪、長崎、沖縄）6泊7日 10名参加

- ・羽田⇒大阪
- ・大阪、神戸自由研修（大阪泊）
- ・大阪、神戸市内見学（大阪泊）
- ・長崎市内自主研修（長崎泊）
- ・ハウステンボス見学（長崎泊）
- ・長崎⇒沖縄
- ・自主研修（沖縄泊）
- ・専用車にて沖縄視察研修（沖縄泊）
- ・沖縄⇒羽田



2年夜間部

= グアム、ローマ、ブリティッシュヒルズ（国内）から選択 =

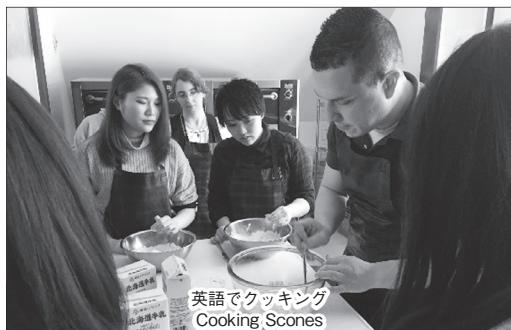
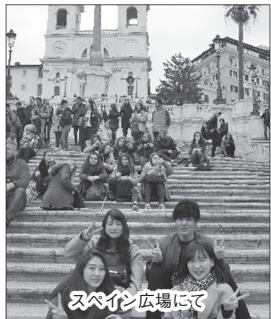


グアムコース 3泊4日 50名参加

- ・成田⇒グアム（グアム泊）
- ・市内研修・ホテル視察研修（グアム泊）
- ・自主研修（グアム泊）
- ・グアム⇒成田

ローマコース 4泊6日 20名参加

- ・成田⇒ローマ（ローマ泊）
- ・世界遺産ローマ歴史地区研修（ローマ泊）
- ・農場・チーズ製造工場視察（ローマ泊）
- ・自由研修（ローマ泊）
- ・ローマ⇒成田



国内（福島県ブリティッシュヒルズ）3泊4日 50名参加

宿泊体験を通じて、英国の文化マナー、生きた英語に触れながら、異文化への興味を養う事を目的としています。

- ・JHS⇒ブリティッシュヒルズ（ブリティッシュヒルズ泊）
- ・5グループに分かれ体験型の英会話レッスン（ブリティッシュヒルズ泊）
- ・5グループに分かれ体験型の英会話レッスン（ブリティッシュヒルズ泊）
- ・ブリティッシュヒルズ⇒JHS



スコール メルボルンの定例会に参加 ～メルボルン留学中の学生現地のメンバーと交流～

メルボルン留学中の伊藤日南子さん、鍾宥琪さん、谷中萌さんの3名が留学先の吉浦先生とスコール インターナショナル メルボルンの11月定例会に参加しました。



ホテル・レストラン事業プレゼンテーションを実施

～ ホテル総支配人など12名を特別審査員にお招きして～

昼間部ホテル科2年生を対象にレストランマネジメントの発表を12月14日～16日の期間に行いました。レストランマネジメントの授業の総まとめとして、各クラスで4チームを作り、授業内でプレゼンテーションを行い、各クラス、優秀2チームが準決勝に進みました。準決勝、決勝では(1)ホテル・レストランの事業案内について、(2)コンセプト、内装(レイアウト含む)ユニフォームなどのデザイン、Food & Beverageのメニュー(発表作品の原価)PL(経費)、(3)映像音楽を使いノンアルコール1種とデザート1種(テーブルサイドサービス、ゲリドンサービス)を発表しました。

オリジナルのメニュー、ドリンク、テーブルセッティングなど自分たちが作ったコンセプトにあった発表を審査員の先生方への試飲、試食を交え行いました。優勝チームの発表は1年間の授業の集大成にふさわしい素晴らしい発表となりました。



【ホテル・ブライダル企業 人事担当者による講演】

ホテル・ブライダル業界の現状や将来性、求める人材や採用試験のチェックポイントなどについてお話をいただきました。また、在校生の中からの代表者2名による模擬面接を実施、面接時のアドバイスをいただきました。

【ヘア・メイク講座】

就職活動にふさわしいヘア・メイクについて、ロングヘア、ショートヘア、それぞれの学生2名ずつ選出し、実演いただきながら学びました。

1年生を対象とした就職ガイダンスを実施

～就職活動に向けて 1年生対象～

昼間部1年生を対象とした就職ガイダンスを11月29日に実施しました。今回のガイダンスでは、就職活動を開始するにあたり、ホテル・ブライダル企業の人事担当者による講演や模擬面接、また、男性対象に身嗜み・立居振舞い講座、女性対象にヘア・メイク講座を実施しました。



1年生保護者対象 就職説明会を実施



1年生の保護者を対象とした就職説明会を11月26日に実施しました。説明会にはグランドハイアット東京人材開発部長池田史郎様と、本校を2005年3月に卒業し現在は株式会社マリーマーブル人事部部長の高橋麻美様をお招きし、ホテル・ブライダル業界の現状や展望、求める人材像などについての講話をいただきました。本校の進路指導教諭による就職活動の概要についての説明、さらにパネルトーク形式で就職内定を獲得した2年生に実際の就職活動の体験談を語ってもらうなど、保護者の方に就職環境の現状および本校学生の就職活動についてご理解していただく貴重な機会となりました。

新宿調理師専門学校講師による「和食」特別授業を実施 ～昼間部1年生を対象～

「和食」の授業で新宿調理師専門学校上神田梅雄校長先生、日本料理教員の角田考平先生による「出汁の特別講座」、「包丁、和食についての特別講座」を行いました。

昼間部1年生を対象に通年「和食」の授業のカリキュラムとして実施しています。今回の特別授業では和食に欠かせない包丁、出汁を知ってもらい和食の魅力、素晴らしさをプロの調理人に包丁の種類、日本独自の片刃庖丁、陰と陽、出汁を体験し和食に更に興味を持つてもらうことが目的です。

包丁の特別授業では、大根のかつら剥き、銀杏切り、短冊切り、拍子切り等、プロの包丁捌きに感銘を受けていました。



新宿調理師専門学校・調理祭に在校生が参加

学校法人新宿学園 新宿調理師専門学校で開催された第46回調理祭に本校の学生8名がサービススタッフとして参加しました。この調理祭は新宿調理師専門学校の学生の皆さんのが日頃の学習成果を一般の方々に披露する伝統的なイベントです。今回、調理祭で行われた在校生によるレストランとカフェの運営において、本校の学生にサービススタッフとしての参加の要望があったことから8名の在校生が1月28日(土)から29日(日)の2日間にわたりて参加しました。

～JHS同窓会便り～

業界で活躍中の卒業生が集まり座談会を実施

～これからのホテル、ブライダル業界に求められる人材」などをテーマに～

1月16日、ホテル・ブライダル業界で活躍中の卒業生4名にお集まりいただき、「これからのホテル・ブライダル業界に求められる人材とは」「ホテル・ブライダル業界で働くにあたって専門学校で学ぶことの必要性」をテーマに座談会を実施しました。この座談会では、4名の卒業生の皆様の経験とホテル・ブライダル業界の現状や課題をもとに、今後の業界に求められる人材像やその人材育成のため専門学校・大学などの高等教育機関に求めること、そして本校に期待することなどのお話をいただきました。今回の座談会の様子は小冊子とし、ホテル、ブライダル、観光分野における専門学校を含めた高等教育機関進学への理解促進のため、今後入学を検討されている高校生、保護者、高校の先生方に配布する予定です。



左から、雄城隆史さん、原めぐみさん、高橋麻菜美、山本誠さん

今回の座談会に出席された卒業生

- 山本 誠氏 (1976年卒)
株式会社プリンスホテル執行役員／グランドプリンスホテル新高輪他 品川地区3ホテル総支配人
雄城隆史氏 (1982年卒)
株式会社ロイヤルパークホテルマネジメント常務取締役／ロイヤルパークホテルザ汐留 総支配人
原めぐみ氏 (1993年卒)
ANAクラウンプラザホテル福岡 総支配人
高橋麻菜美氏 (2005年卒)
株式会社MARRY MARBLE 人事部長

第2回ゴルフコンペを開催

～JHS同窓会ゴルフクラブ～

JHSゴルフクラブの第2回ゴルフコンペを12月12日、千葉県・市原ゴルフクラブ市原コースで行いました。当日は、卒業生9名、教職員5名の計14名が参加し、好天で暖かく絶好のコンディションの中、楽しくプレーすることができました。

「JHSゴルフクラブ」は、幅広い層の卒業生と教職員との懇親を深める目的で2016年4月1日に発足、会長は、乙部 彩佳さん(2010年卒業)、副会長は、林 哲平さん(2009年卒業)が務めています。今回、2名の女性メンバーが初参加しました。



参加者の皆さん

◇◇ JHS同窓会ゴルフクラブの会員募集 ◇◇

今年度の活動は、このゴルフコンペをもって終了します。来年度は5月に第3回ゴルフコンペ、9月に懇親会、11月に第4回ゴルフコンペを予定しています。引き続き、卒業生の会員を募集していますので、下記宛にご連絡ください。

- JHSゴルフクラブ顧問 川辺 修 kawabe@jhs.ac.jp
■ JHSゴルフクラブ事務局 石塚 崇 t.ishizuka@jhs.ac.jp

2016年度同窓会理事任命式を挙行

～各クラス1名が同窓会理事に任命される～



同窓会理事に任命された昼間部の学生

2016年度同窓会理事任命式を12月9日に挙行しました。同窓会理事は各クラス1名任命され、卒業後は同窓会と卒業クラスの仲間を繋ぐ大切な役割を担っていきます。2016年度は12名の理事が任命され、石塚勉校長より委嘱状が授与されました。また、石塚校長より任命式の中で「理事とはまとめ役、若くして任命されることは大変名誉なことであり、社会的には信用の証である」と激励のことばをいただきました。

スコール・クラブ アジア地区中期役員会開催

～バーレン王国 石塚校長が参加～

2017年度スコールクラブ・アジア大会の開催国であるバーレン王国のザ・Kホテルにおいて、韓国、日本、インド、スリランカ、バーレン王国、グアムから会長、副会長、理事、事務局長7名、関係者4名の11名から構成されるスコールクラブ・アジア地区中期役員会が11月27日から29日に開催されました。本校より、スコール・クラブ・アジアの副会長を務める石塚校長が出席しました。



ガルフホテルの視察



役員会メンバー



歓迎夕食会にて



財団ニュース

第6回 学生観光論文コンテスト受賞者決定 ～賞金総額100万円～

一般財団法人日本ホテル教育センターは、一般社団法人全日本シティホテル連盟の協賛を受けて、公益財団法人日本ナショナルトラストと共に昨年末、全国の大学・短期大学・専門学校の学生を対象とした「学生観光論文コンテスト」を昨年に引き続き実施、最優秀賞1編、優秀賞2編、合計3編、賞金総額100万円の受賞者が決定しました。

このコンテストは、2010年から国土交通省観光庁の政策を支援する意味で開始、日本の観光産業へ若い世代の人達の興味関心を高めること目的としています。2016年度は、①“観光立国で日本を元気にする方策について、私の提案”、②“観光資源保護におけるナショナルトラスト活動の役割について、私の提案”、③“我が国のMICE（マイス）競争力強化に向けて、私の提案”の3つのテーマを設定、全国の25大学・1専門学校より51編の応募をいただきました。国土交通省観光庁をはじめ、観光に造詣の深い業界人、業界誌紙、学者の10名の外部審査委員により、最優秀賞1編、優秀賞2編、合計3編の受賞者を決定しました。論文の応募総数は昨年を上回り、論文の質の向上も顕著です。表彰式は2月21日、第45回 国際ホテル・レストラン・ショー会場内（東京ビッグサイト）東1ホール主催者室にて開催しました。

最優秀賞【観光庁長官賞】

早稲田大学 商学部3年 山元康平(代表)・小川真澄・加賀妻美沙・川合悠加・和田蒼一

優秀賞【公益財団法人日本ナショナルトラスト会長賞】

拓殖大学 政経学部経済学科茂木創セミ4年 西澤優(代表)・藤枝永奈・小野寺愛実

優秀賞【一般社団法人全日本シティホテル連盟会長賞】

高崎経済大学 地域政策学部地域政策学科佐藤公俊研究室3年 渋谷知樹(代表)・金子佳聖・佐藤瑞恵・横山諒

【お問い合わせ】

一般財団法人日本ホテル教育センター 事業本部
学生観光論文コンテスト事務局
TEL: 03-3367-5663 E-mail: support@jec-jp.org



日本旅館国際女将会 12月定例会・勉強会開催 ～旅館の活性化へ向けて～



12月14日、日本旅館国際女将会12月定例会・勉強会を開催しました。勉強会ではスパ・ウェルネスコンサルティングのコンセプトアジア社長の相馬順子氏を講師に迎え『新富裕層を狙え。新しく台頭する超優良顧客の実態とアプローチ法』について講演していただきました。また、講演後の料理勉強会では、ジョエル・ロブションにて

2012年「クープ・ジョルジュ・バティスト」サービス世界コンクール東京大会で優勝、世界一となった宮崎辰氏がサービスを担当。宮崎氏からは「旅館のおもてなしは客様と同じ目線で横の関係を築いており、各地の旅館に泊まるたびに勉強になる。お客様のために仕事をしているという点では同じで、努力の積み重ねとチーム力から良いサービス、おもてなしが生まれる点も共通している」とお言葉を頂きました。

和食検定 本試験前の腕試し

～2016年8月1日からWeb試験がスタート！～

『和食検定 Web 試験』は、日本人の伝統的な食文化である“和食”を大切に育み伝えていくために、その価値と内容を分かりやすく解説した「和食検定」テキスト（Web試験は入門編を推奨）を学習し、その学習効果を測定するための公開試験（10月・2月実施）のWeb版として、事前に理解度を確認して頂くための試験です。



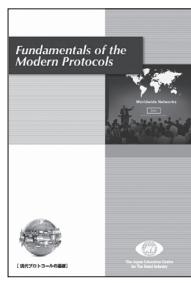
和食検定テキスト
入門編・基本編・実務編

【お問い合わせ】
一般財団法人 日本ホテル教育センター 事業本部
TEL: 03-3367-5663 FAX: 03-3362-5940
E-mail: web-shiken@washokukentei.jp http://www.washokukentei.jp

新刊のご案内

「現代プロトコールの基礎」

国際儀礼（プロトコール）について、その原理原則から実務面での対応方法までをわかりやすく解説しています。



B5判
400ページ
日英併記版
定価3,600円（税別）
販売：プラザ出版
<http://www.plazapub.co.jp>

編集責任者：石塚 勉
編集担当：黒沢由美子
連絡先：03-3360-8231 kurosawa@jhs.ac.jp